

# 尾道市総合防災マップ

尾道市

**総合防災マップとは？**  
この防災マップは、土砂災害、河川氾濫による浸水、地震による津波などの災害によって被害が想定される箇所や避難所の位置などを地図に示したものです。いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃からこの防災マップを使って家族や地域で話し合ってみてください。

## わが家の防災メモ

地図面で避難所や避難経路を確認し、大切なことは書き込んでおきましょう！

**知っておきたい連絡先**

尾道市の主な機関	電話番号
尾道市役所（代表・夜間）	0848-38-9111
尾道市水道局	0848-37-8700
お住まいの地域に支所がある方は、支所の電話番号も書き込んでおきましょう！	

**緊急時の連絡先**

**119：消防**  
火事、救助、救急の通報

**118：海上保安庁**  
海上、海難事故の通報

**110：警察**  
交通事故、事件の通報

**家族で決めておくこと**

●最寄りの避難所はどこですか？

●家族の集合場所はどこですか？

避難所	集合場所

●家族の連絡先などを書き込んでおきましょう！

氏名	続柄	血液型	生年月日	持病・アレルギー	緊急時の連絡先 (携帯電話・学校・勤務先など)

**災害用伝言ダイヤル「171」** ※一般加入電話・公衆電話・携帯電話・PHSでご利用できます。

忘れて「イナイ(171)?」

伝言を録音する

171

1 「1」を選択

2 「2」を選択

市外局番-00-0000

録音 30秒

再生 30秒

「被災地の方」は自分の電話番号を

「被災地以外の方」は被災地の方の電話番号を

すぐに持ち出せる所に保管して下さい。

# 避難時に注意すること

## 災害別のポイント

### 地震

●揺れがおさまるまで身の安全を確保！

窓やドアを開け、出口を確保します。又天なテーブルや机の下に避難し、身の安全を確保して下さい。

●火元、電源をオフ！

揺れがおさまり安全を確認してから、ガスの元栓を閉め、ブレーカーの電源をオフするなど、火災の発生を防ぎます。

●移動時は必ず靴を履こう！

ガラスや木片などの飛散が予想されます。屋外への移動時は当然ながら、室内の移動でも靴を履きましょう。

### 津波

●揺れがおさまったら高いところへ避難！

揺れがおさまったら、高台など安全な場所へ速やかに避難しましょう。

●第2波、第3波に注意！

津波は連続して押し寄せ、第1波より第2波・3波の方が高くなる場合もあります。津波警報や注意報が解除されるまでは警戒してください。

●小さな揺れでも注意！

揺れが小さくても津波が来ないとは限りません。震源の位置や津波注意報など、正確な情報を収集しましょう。

### 土砂災害

●まずは事前の確認！

土砂災害から身を守るためには、事前に危険箇所を確認し、災害の前兆現象を知っておくことが大切です。防災マップを使って確認しておきましょう！

●寝る場所にも注意！

就寝中に発生する場合があります。日頃から、かけがえのない2階の部屋に寝るなど土砂災害に備えましょう。

●もしも遭遇したら・・・？

すぐ崩れの前兆現象を発見したら、斜面からできるだけ遠くに逃げましょう。土石流の場合は、土砂の流れる方向に対して、直角に逃げるようにします。

### 風水害

●安全で動きやすい服装で避難！

ヘルメットや雨巾で頭を保護し、脱げにくい、紐で締められる運動靴で避難しましょう。※長靴は水が溜まると歩きにくいので厳禁です！

●足元に注意！

浸水時の水は濁っています。マンホールや側溝、障害物に足を取られないよう、長い棒で進行方向を確認しながら歩きましょう。

●川や橋には近づかない！

避難経路の近くに川や橋がある場合は、迂回するか、できるだけ近づかないようにしましょう。また、危険ですので増水した川の様子などを見に行かないでください。

## 避難の注意事項

### 事前に備えて早めの避難

避難所への移動中に危険に遭遇しないためにも、早期避難が大切です。事前に災害について学び、非常時持ち出し品を備えておくことで、早期避難が可能となります。

**日頃からのポイント**

- 天候が崩れたら、気象・防災情報をチェックしましょう。
- すぐに避難できるよう、防災マップを使って避難所や経路をチェックしておきましょう。
- このマップの「事前に備えよう」の頁を参考に、必要な非常時持ち出し品を備えおきましょう。

### 隣・近所で協力避難

お年寄りや子供、身体に障害を持つ人など、手助けを必要とする人がいます。隣・近所で協力して避難をしましょう。また、できるだけ集団で避難するように心がけましょう。

**日頃からのポイント**

- いざと言う時に協力しあえるよう、隣・近所で声をかけあいましょう。
- 地域に住んでいる人の名簿があると、避難の確認が容易です。
- 協力避難を行うためにも、日頃からのコミュニケーションが大切です。

# 土砂災害について知ろう！

## 土砂災害の種類と前兆現象

### がけ崩れとは？

雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。突然起きるため、逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。

**こんな前兆れに注意！**

- がけから水がわき出ている。
- がけから小石がぼらぼらと落ちてくる。
- 地鳴りがする。
- がけにひび割れができる。

### 土石流とは？

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

**こんな前兆れに注意！**

- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。
- 山鳴りがする。
- 急に川の水が濁り流木が混ざりはじめる。

### 地すべりとは？

斜面が地下水の影響と重力によってゆっくりと下方に移動するをいいます。移動する土壌の量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。

**こんな前兆れに注意！**

- 地面にひび割れができる。
- 沢や井戸の水が濁る。
- 斜面から水が湧き出す。

## 土砂災害に関する情報

●土砂災害ポータルひろしま

土砂災害ポータルひろしまでは、土砂災害発生の危険性がある区域、土砂災害に関する警戒情報などを発信しています。事前に情報を入手し、土砂災害への備えに活用しましょう。

**主な情報**

- 土砂災害危険箇所図
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域図
- 土砂災害の危険性がある区域をインターネットで閲覧することができます。また、出力の際に「オリジナルハザードマップ」を作成することもできます。
- 土砂災害警戒情報
- 土砂災害危険度情報

Web アドレス: <http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/porta/>

土砂災害ポータルひろしま 検索

# 津波について知ろう！

## 津波が発生する地震とは？

■尾道市で予測される「津波が発生する地震」

地震の種類	① 最高津波水位	② 津波の高さ
南海トラフ巨大地震	3.5m	1.4m
瀬戸内海域活断層等で発生する地震	3.2m	1.0m

※最高津波水位は東京湾平均海面からの高さ(海拔)です。(単位:T.P.m)

津波の浸水域と浸水深の模式図

津波水位(T.P.m) 津波の高さ(m) 浸水深(m) 地震前の堤防 地震後の堤防 東京湾平均海面(T.P.)

防災マップで表示している浸水想定区域

堤防等の耐震性等が十分でない場合(耐震工事中のものも含む)、地震により破壊され、地域によっては津波が襲来する前に浸水が発生することがあります。

## 津波の伝わり方と時間

■津波の伝わり方

広島県の浸水想定によると、地震発生から12時間以上は津波が繰り返し押し寄せてくることが予測されています。津波注意報・警報が解除されるまでは、高台等の安全な場所に留まっておくなど、海に近づかないようにしましょう。

■南海トラフ巨大地震による津波の水位時系列変化

尾道系崎港で発生する津波

津波水位(T.P.m) 時間(分)

地震発生 初期潮位 水位の変動

※地震発生から720分(12時間)以上にわたり押し寄せます

# 避難行動について

## 避難行動のポイント

災害時に避難した人の多くが、「まわりの人が避難したから」という理由で行動を起こしています。まずは、**あなたから、すみやかに避難をはじめてください。** その行動が、たくさんの命を救うことにつながります。

### 避難行動の1ポイント

**安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。**

日頃から、お住いの地域のハザードマップで、災害発生のおそれがある場所かどうかを確認しましょう。

### 避難行動の2ポイント

**避難する先は、市町が指定する避難所だけではありません。**

日頃からよく相談して、緊急時に身を寄せられる親戚や知人宅など、安全な避難先を確保しておきましょう。

### 避難行動の3ポイント

**警戒レベル③が出たら、危険な場所から避難しましょう。**

台風の接近など、災害発生の可能性が高いと思われる場合は、発令される前でも早めに避難してください。

## 警戒レベル説明

尾道市が発令する避難情報等、国土交通省や気象庁、都道府県から提供される防災気象情報には、以下のものがあります\*1。

警戒レベル	避難行動等	避難情報等	防災気象情報 (国土交通省、気象庁、都道府県) (例)
警戒レベル5	すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	緊急安全確保*2 (尾道市が発令)	防犯レベル相当情報 【洪水】 氾濫危険情報
警戒レベル4	速やかに避難しましょう。*3 避難先までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	避難指示 (尾道市が発令)	警戒レベル4相当情報 【洪水】 土砂災害警戒情報 警戒レベル4相当情報 【土砂災害】
警戒レベル3	避難に時間がかかる高齢者や障害のある人とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 (尾道市が発令)	住民が自らの判断で避難行動をとる際に判断の参考とするための情報です。 警戒レベル相当情報が出されたとしても必ずしも同じ期間内に当該区域に同レベルの避難勧告等が発令されるとは限りません。 また、例えば、土砂災害の警戒レベル4相当情報が発せられた後に、洪水の警戒レベル3相当情報が発せられることもあります。土砂災害と洪水の複数の被害が発生する状況の中で、速やかに避難してください。
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報 (気象庁が発表)	
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	警報級の可能性 (気象庁が発表)	

\*1 必ずしも、この順番で発令されるとは限らないので、ご注意ください。また、台風接近時等においては、避難情報が早めに発令されることがあります。  
\*2 市が発令する避難情報で、命が危険な状況で、警戒レベル5に発令された場合は必ず命を守る行動を速やかに実施してください。  
\*3 避難先は、市の指定避難場所・避難所に限られません。家族や親戚、知人宅への避難について日頃から相談しておいてください。

# 水害について知ろう！

## 雨の降り方と強さ

雨量	1時間に10～20mm	1時間に20～30mm	1時間に30～50mm	1時間に50～80mm	1時間に80mm以上
雨	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。	道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。		
人受けのイメージ	傘が濡れる。	どしゃ降り。傘をさしても濡れる。	バケツをひっくり返したよりに降る。	滝のように降り、傘は全く役に立たなくなる。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。
状況	長くくようなら、注意が必要である。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。	マンホールから水が噴出した。土石流が起こりやすくなる。	雨による大規模災害のおそれが高く、厳重な警戒が必要。	

「局地的大雨」とは？

積乱雲(雷雲)によって急に強い雨が降り、降った雨が低い場所へ一気に流れ込むため、総雨量は少なくても、数分間で甚大な被害が発生することがあります。「ゲリラ豪雨」とも言われ、気象庁の予報用語ではありませんが、メディアによる報道ではよく用いられます。

## 河川水位と避難行動

尾道市を流れる河川(御調川、藤井川、本郷川)には、下図のような「水位」が設定されており、各水位を目安とし、早めの避難行動が求められています。

河川水位	内容
はん濫危険水位	各河川の水位情報は広島県防災Webで確認することができます。川の近くにお住いの方は、積極的に情報入手するようにしましょう！
避難判断水位	気象情報、河川水位などの情報を入手することができます。
はん濫注意水位	

広島県防災Web <http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/>

携帯電話 <http://www.bousai.pref.hiroshima.jp/>

●河川の水位状況に応じて尾道市から「避難に関する情報」を発令します。  
●雨の降り方や川の大きさにより水位が急上昇する場合があります。早めの避難を心がけてください。

# 総合防災マップを活用しよう！

## 総合防災マップの見かた

「総合防災マップ」には、以下のような情報が集約されています。

No	項目	内容
1	マップ表示範囲	尾道市のどの地区を表示しているかを表示しています。
2	各種一覧表 (避難所、緊急避難場所、福祉避難所、津波避難ビル、みんなの井戸)	名称、連絡先、災害種別、海拔を表示しています。各避難施設等の番号は、地図ごとの通し番号です。
3	土砂災害	土砂災害の危険性のある区域を表しています。
4	津波・洪水	津波や洪水により、どのくらいの深さ・範囲で浸水するかを表しています。
5	危険箇所情報に関する留意事項	危険箇所情報がどのように決められているかを解説しています。
6	マークの凡例	地図上に表示している施設マークについて説明しています。

※地図を見るときは、まず自宅を確認すると分かりやすいです。

## うちの防災マップを作る！

**作成手順と作成例**

**STEP 1 市役所に相談**

マップの作成に必要な経費の補助制度があります。

**STEP 2 地域で話し合い**

マップの作成方法について、地域で話し合います。

**STEP 3 マップの作成**

防災マップを見たり、地域を歩いて危険箇所や避難経路などを確認し、マップに記入しましょう。

**STEP 4 マップの印刷**

市役所が「うちの防災マップ」を印刷します。

**STEP 5 マップの配布**

地域住民に「うちの防災マップ」を配布します。

# 事前に備えよう！

## 尾道市安全・安心メール

尾道市安全・安心メールは、ご登録いただいた方の携帯電話等に、市内の「防災情報」「行方不明者の情報」をメールで配信するサービスです。

■配信情報

- ① 防災情報・・・気象情報、避難勧告等の発令、避難所開設等
- ② 行方不明者SOS情報・・・行方不明者の情報

携帯電話から登録

パソコンから登録

QRコード読み取り機能搭載の携帯電話は、下のQRコードを読み取り、表示内容に従って利用規約等確認後、空メールを送信してください。

宛先: [b-onomichi@io.dataeast.jp](mailto:b-onomichi@io.dataeast.jp)

を入力しメールを送信します。その後、登録案内メールが届きますので、メール内容に従い登録を完了して下さい。

詳しくは [こちら](#)

尾道市安全・安心メール 検索

※登録は無料ですが、受信等通信料金は利用者負担です。

## 非常時持ち出し品の準備

●非常時持ち出し品は、家族構成を考えて必要なものを用意しておきましょう。  
●非常時持ち出し品を入れる袋は、体に合った大きさを意識し、自分で背負うことのできる重さにししましょう。  
●濡れはなれになったとのために、荷物は各自のリュックに分割させておきましょう。

食料・飲料水	衣料品	ラジオ・懐中電灯等
ミネラルウォーター、乾パン、缶詰など火を通さなくても食べられるものなど	下着、くつした、上着、タオルなど	携帯ラジオ、懐中電灯(予備電池は多めに)、ライターなど
貴重品	医薬品	その他
現金、預金通帳、免許証、健康保険証などの貴重品	包帯、傷薬、胃腸薬、ばんそうこう、鎮痛剤、服用中の薬など ※常備薬は必ず入れておく	眼鏡、補聴器、入れ歯、紙オムツ、母子手帳、哺乳瓶、携帯電話の充電器など